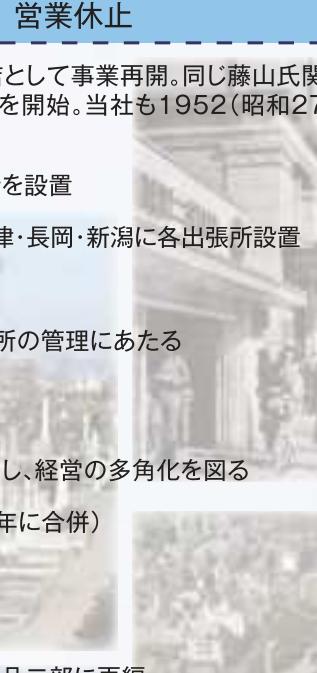


沿革

江戸 明治 大正 昭和 平成	1837(天保8)年	初代・田辺幸七(幼名は銀蔵)が横浜村(現在の横浜市中区山下町)で出生。田辺家は横浜村の集家であったが、開港時に立ち退きを命じられ本村(現在の中区元町)に移住。当初は薪炭商(しんたんしょう・木炭を販売)を営んでいた。		時代背景
	1867(慶応3)年 某月	初代・田辺幸七が田辺屋を元町3丁目122番地にて創業。砂糖の問屋・小売商を始める。その後、小麦粉や石油なども扱うようになる。		
	初代幸七	<p>住吉町(すみよしちょう)</p> <p>元町(もとまち)</p> <p>港町(みなとちょう)</p>		
	1914(T3)年 田辺大蔵入社	1867(K3)年 田辺屋		
	1915(T4)年 2代目・幸七 (豊太郎を改名) が就任	初代幸七 元町3-122		
	1918(T7)年 田辺喜一郎入社	1920(T9)年頃 田辺屋貿易店 [小売部]		
	二代目幸七 (大蔵・高浪曹平)	1920(T9)年頃 合資会社 田辺商店 二代目幸七 取引先:横浜近郊		
	喜一郎	1923(T12)年5月31日 株式会社 田辺商店 代表取締役 二代目幸七		
	1932(S7)年~38(S13)年頃 代表取締役 高浪曹平	1923(T12)年7月 合資会社 田辺屋貿易店 1937年頃閉店		
	1939(S14)年頃 株式会社 田辺商店 代表取締役 田辺喜一郎 住吉町5-59	1937(S12)年11月1日 合名会社 田辺屋 代表社員 田辺喜一郎、他1名		
1943(S18)~1947(S22) 営業休止				
昭和	1948(S23)年	従来の関係筋・大日本製糖株(社長:藤山氏)の特約店として事業再開。同じ藤山氏関連の日東化学工業株が横浜工場でドライアイス事業を開始。当社も1952(昭和27年)より特約店としてドライアイスの販売を開始する		時代背景
	1953(S28)年	東京・静岡・浜松・沼津・島田・名古屋・豊橋に各出張所を設置		
	1955(S30)年	八戸・青森・花巻・盛岡・一の関・福井・金沢・富山・直江津・長岡・新潟に各出張所設置		
	1958(S33)年	札幌・函館・旭川・釧路・室蘭に出張所を設置		
	1959(S34)年	会社業績の拡充に伴い各地域に営業所を設置し出張所の管理にあたる 宮古・釜石・大船渡・気仙沼の各出張所を開設する		
	1961(S36)年	仙台営業所の他、紋別・網走・稚内に出張所を開設		
	1963(S38)年	本社・7営業所・46出張所の体制で取扱い商品を増やし、経営の多角化を図る		
	1965(S40)年	三菱レイヨン株が日東化学工業株に経営参加(1997年に合併)		
	1967(S42)年	本社ビル竣工:横浜市中区本町(ほんちょう)6-51		
	1975(S50)年	田辺真一郎 社長就任		
	1980(S55)年	食品部・化成品部・物資部を食品部・化成品一部・化成品二部に再編		
	1983(S58)年	株式会社設立60周年を機に、本社・9支店・34営業所・4出張所の体制とする		
	1987(S62)年	田辺商事株式会社に社名変更		
	1998(H10)年	岩本猛 社長就任		
	1999(H11)年	新本社ビル完成 横浜市中区山下町(やましたちょう)71-2		
	2001(H13)年	エア・ウォーター炭酸株が三菱レイヨン株から炭酸事業の営業譲渡を受ける		
	2016(H28)年	田辺哲郎 社長就任		
	2017(H29)年	創業150年		